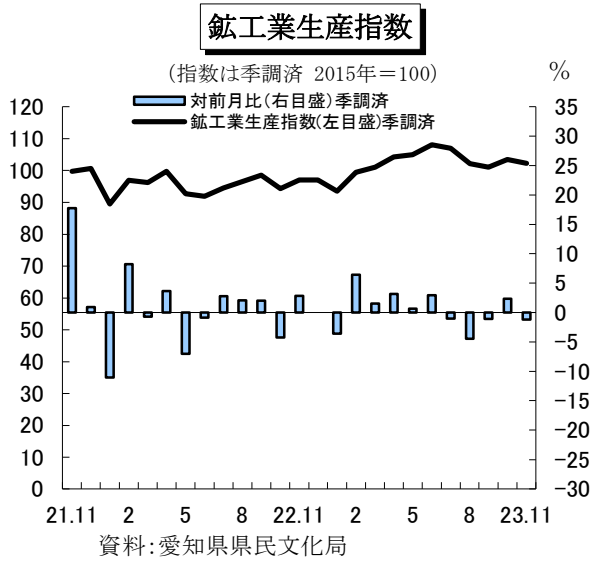


あいち経済の動き (月報)

(2023年11月分)

生産：鉱工業生産指数 (季節調整済) は、前月比1.2%の低下



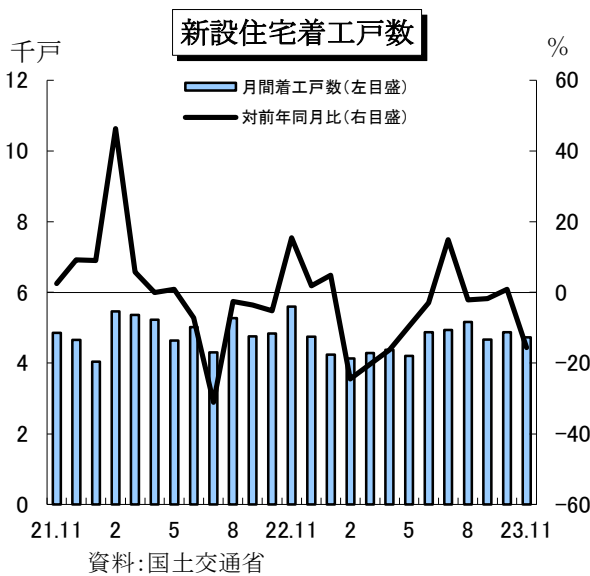
2023年9月	10月	11月
→	→	→

主な指標の動き

鉱工業生産指数(季節調整済)は、前月比で、輸送機械工業が3.4%低下するなど、全体では1.2%の低下となりました。

また、鉱工業生産指数(原指数)は、前年同月比で、輸送機械工業が18.7%上昇するなど、全体では5.4%の上昇となりました。

投資 (住宅建設)：新設住宅の月間着工戸数は、前年同月比15.6%の減少



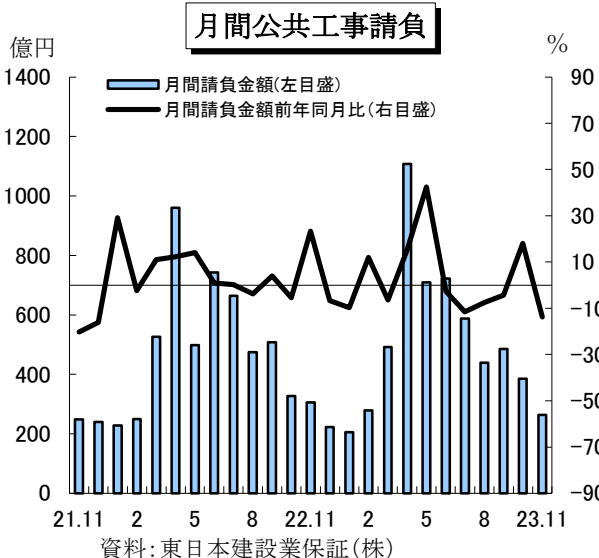
2023年9月	10月	11月
→	→	↘

主な指標の動き

新設住宅の月間着工戸数は、前年同月比で15.6%減となり、2か月ぶりの低下となりました。

内訳は、給与住宅が150.0%増加し、持家が17.7%、貸家が16.9%、分譲住宅が13.3%の減少となりました。

投資 (公共工事)：公共工事の月間請負金額は、前年同月比13.7%の減少



2023年9月	10月	11月
↘	↗	↘

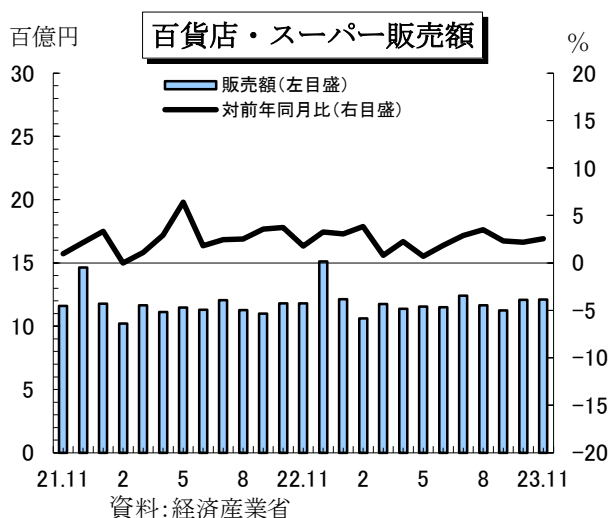
主な指標の動き

公共工事の月間請負金額は、前年同月比で13.7%減となり、2か月ぶりの減少となりました。

月間請負件数は、前年同月比で14.5%減となり、2か月連続の減少となりました。

※上記の矢印の向きは月間請負金額を示すもの。

個人消費：百貨店・スーパー販売額は、前年同月比2.6%の増加



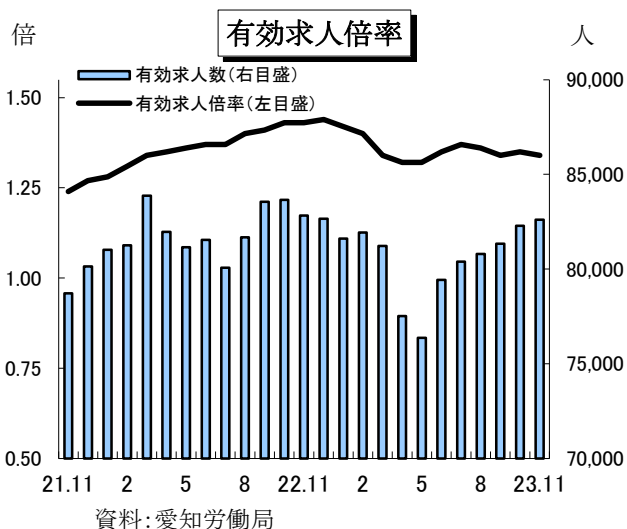
2023年9月	10月	11月
➡	➡	➡

主な指標の動き

百貨店・スーパー販売額は、前年同月比で2.6%増となり、21か月連続の増加となりました。

百貨店販売額は、衣料品が8.1%増となるなど、全体では6.8%の増加となりました。スーパー販売額は、衣料品が9.0%増となるなど、全体では0.8%の増加となりました。

雇用：有効求人倍率は、1.34倍



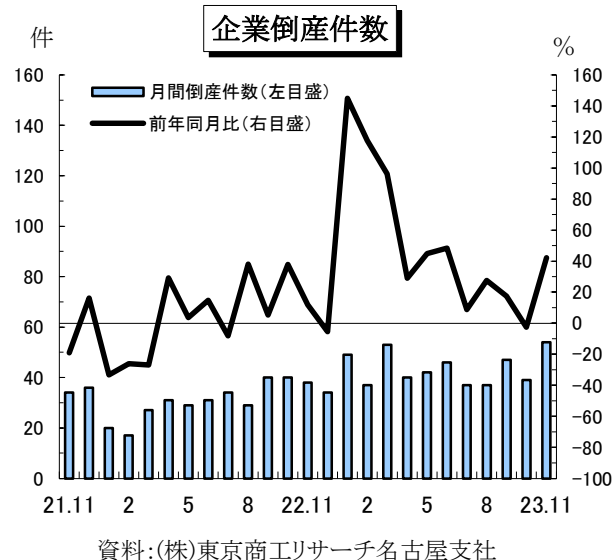
2023年9月	10月	11月
➡	➡	➡

主な指標の動き

有効求人倍率は、1.34倍と2か月ぶりの低下となりました。

有効求人人数は、前年同月比で0.3%減となり、4か月連続の減少となりました。

企業（倒産）：月間倒産件数は、前年同月比42.1%の増加



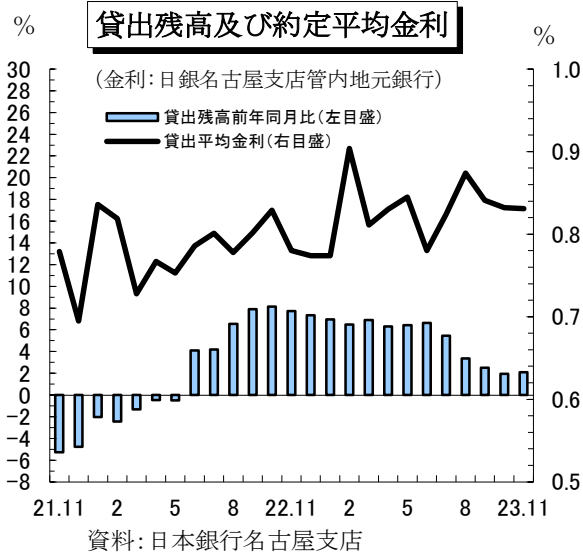
2023年9月	10月	11月
➡	↗	↘

主な指標の動き

企業の月間倒産件数は54件と、前年同月比では42.1%増となり、2か月ぶりの増加となりました。

業種別にみると、倒産件数の多い順にサービス業他が17件、建設業が12件、製造業が11件、卸売業、小売業が4件、運輸業が3件、不動産業が2件、金融・保険業が1件となっています。

企業（金融）：貸出残高は、前年同月比2.1%の増加



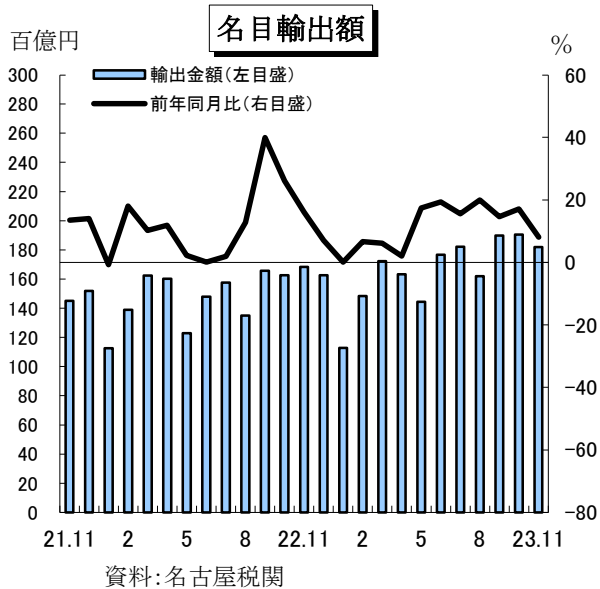
2023年9月	10月	11月
→	→	→

主な指標の動き

貸出残高は、前年同月比で2.1%増となり、18か月連続の上昇となりました。

※上記の矢印の向きは貸出残高を示すもの。

貿易（輸出）：名目輸出額は、前年同月比8.1%の増加



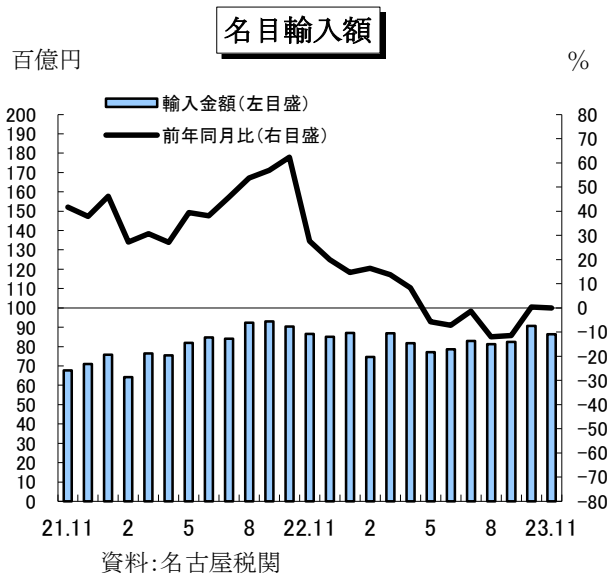
2023年9月	10月	11月
→	↗	→

主な指標の動き

名目輸出額は、前年同月比で8.1%増となり、22か月連続の増加となりました。

地域別にみると、北米向けが20.8%、EU向けが6.2%の増加、アジア向けが1.3%の減少となりました。

貿易（輸入）：名目輸入額は、横ばい



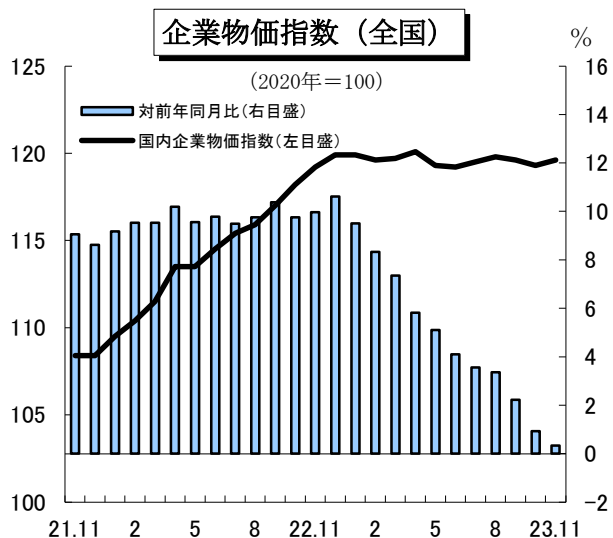
2023年9月	10月	11月
↘	→	→

主な指標の動き

名目輸入額は、前年同月比で横ばいとなりました。

地域別にみると、アジアからは2.6%、EUからは0.7%増加し、北米からは3.8%の減少となりました。

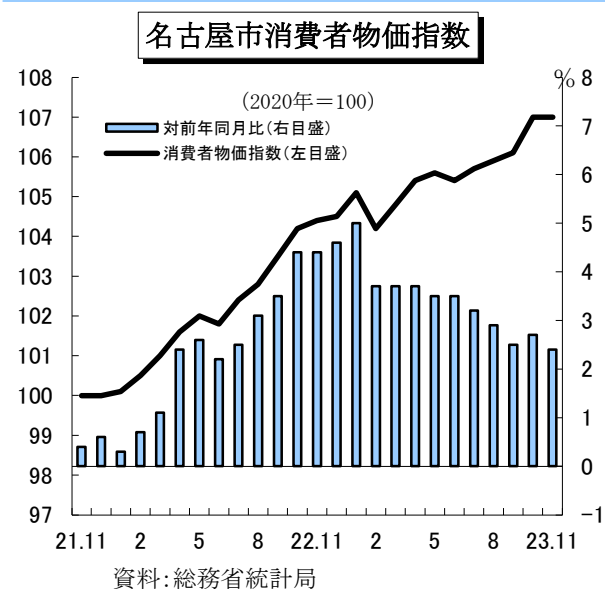
物価（企業物価）：企業物価指数は、前年同月比0.3%の上昇



2023年9月	10月	11月
↗	→	→

主な指標の動き
<p>国内品の企業物価指数は、119.6となり、前年同月比で0.3%上昇し、33か月連続の上昇となりました。</p> <p>前月比では0.3%上昇し、3か月ぶりの上昇となりました。</p>

物価（消費者物価）：名古屋市消費者物価指数は、前年同月比2.4%上昇



2023年9月	10月	11月
↗	↗	↗

主な指標の動き
<p>名古屋市消費者物価指数(総合)は、107.0となり、前年同月比で2.4%上昇し、25か月連続の上昇となりました。</p> <p>前月比では横ばいとなりました。</p>

(注) 矢印は、3か月前比を中心に変化の方向を表すため、毎月の変動とは異なる場合があります。

経済指標の矢印判定の推移

	23年 6月	7月	8月	9月	10月	11月
生産	→	→	↘	→	→	→
投資(住宅建設)	→	↗	→	→	→	↘
投資(公共工事)	→	↘	↘	↘	↗	↘
個人消費	→	→	→	→	→	→
雇用	↗	↗	↗	→	→	→
企業(倒産)	→	→	→	→	↗	↘
企業(金融)	→	→	→	→	→	→
貿易(輸出)	↗	↗	↗	→	↗	→
貿易(輸入)	↘	↘	↘	↘	→	→
物価(企業物価)	→	→	↗	↗	→	→
物価(消費者物価)	↗	↗	↗	↗	↗	↗
↗	3	4	4	2	4	1
→	5	4	3	5	5	5
↘	1	2	3	2	0	3
⇨	2	1	1	2	2	2

(注) 水平矢印の黒色・白色は直近の上向き・下向き矢印に依存する。

あいち経済の動き・矢印判定基準等

		使用データ	矢印判定基準
生産		愛知県県民文化局統計課「愛知県鉱工業指数」 ／生産指数（鉱工業）	↑：前月比3%以上プラスかつ対3か月前比プラス ↓：前月比3%以上マイナスかつ対3か月前比マイナス →：上記以外
投資	住宅建設	国土交通省「住宅着工統計」／新設住宅着工件数	↑：月間着工戸数の対前年同月比3%以上プラスかつ同比の対3か月前比プラス ↓：月間着工戸数の対前年同月比マイナスかつ同比の対3か月前比マイナス →：上記以外
	公共工事	東日本建設業保証㈱「公共工事前払金保証統計」／月間請負金額	↑：対前年同月比3%以上プラスかつ同比の対3か月前比プラス ↓：対前年同月比マイナスかつ同比の対3か月前比マイナス →：上記以外
個人消費		経済産業省「商業動向統計」のうち「業態別、都道府県別、商品別販売額等」 ／大型小売店販売額合計（百貨店＋スーパー）	↑：対前年同月比5%以上プラスかつ同比の対3か月前比プラス ↓：対前年同月比マイナスかつ同比の対3か月前比マイナス →：上記以外
雇用		愛知労働局「最近の雇用情勢」／有効求人倍率	↑：有効求人倍率1超かつ対3か月前比プラスの場合又は有効求人倍率対前月0.1ポイント以上プラスで、かつ対3か月前比0.2ポイント以上プラスの場合 ↓：有効求人倍率1未満かつ対3か月前比マイナスの場合又は有効求人倍率対前月0.1ポイント以上マイナスで、かつ対3か月前比0.2ポイント以上マイナスの場合 →：上記以外
企業	倒産	㈱東京商工リサーチ名古屋支社「東海三県下企業倒産動向」	↑：月間倒産件数の対前年同月比マイナスかつ同比の対3か月前比マイナス ↓：月間倒産件数の対前年同月比5%以上かつ同比の対3か月前比プラス →：上記以外
	金融	日本銀行名古屋支店「都道府県別預金、現金、貸出金（国内銀行）」／貸出残高	↑：対前年同月比1%以上プラスかつ同比の対3か月前比プラス ↓：対前年同月比マイナスかつ同比の対3か月前比マイナス →：上記以外
貿易	輸出	名古屋税関「管内貿易概況」／名目輸出額	↑：対前年同月比5%以上プラスかつ同比の対3か月前比プラス ↓：対前年同月比マイナスかつ同比の対3か月前比マイナス →：上記以外
	輸入	同上／名目輸入額	同上
物価	企業物価	日本銀行「企業物価指数」／国内企業物価	↑：対前年同月比1%以上プラスかつ対3か月前比プラス ↓：対前年同月比マイナスかつ対3か月前比マイナス →：上記以外
	消費者物価	総務省統計局「消費者物価指数」／名古屋市（総合）	同上
区分	上昇  横ばい  下降 		

(注) 1. 矢印は、対前年比、3か月前比を中心に変化の方向を表す。

2. 「倒産」については、倒産件数が上昇の場合は“↘”を、下降の場合は“↙”を表示する。